

放課後等デイサービスにおける  
支援プログラム 公表



株式会社ミツバファクトリー あそび王国

2025年3月21日

## 経営理念

遊ぶためには勉強する。

遊びを通して人間関係を学ぶ。

家庭では体験できない

集団での遊びを提供します。



## 支援方針

“あそび王国”ではお子さまの個性に応じた療育プログラムを作成。面談をして得意なこと、苦手なことなどを見つけ一人ひとりに合ったプランを作ります。発達障がいのあるお子さまは早期に適切な療育を行うことがとても効果的で重要になります。

“あそび王国”では社会生活に適応・成長する手助けをしっかりとサポートします。

## 放課後等デイサービス

- ・学校授業終了後または休業日において、生活能力向上のために必要な訓練、社会交流の促進やその他の多様なメニューを設け、本人の希望を踏まえたサービスを提供します。 組みも一緒に考えます。

## 事業所情報

| 事業所名             | 支援事業 | 送迎の実施 | 営業時間       |
|------------------|------|-------|------------|
| あそび王国<br>津山河辺事業所 | 放デイ  | 有     | 9:00-18:00 |



# 支援内容

|           |                 |  |         |  |
|-----------|-----------------|--|---------|--|
| 本人支援      | 健康・生活           | 1. 遊びを通じて基本的な生活習慣(手洗い、うがい、整理整頓)を身に着ける。2. 遊びながらルールを学び、時間を意識する(例:遊びの前後で片付けをする)<br>3. おやつ時間を楽しく過ごしながら食事のマナーや好き嫌いの克服を促す。4. 公共の場でのマナー(電車の乗り方、切符の買い方)を遊びの中で学ぶ。<br>5. ごっこ遊びを通して「役割」を意識し、社会性を育む(例:お店屋さんごっこ) 6. 食育体験を取り入れ好き嫌いの克服や食文化への理解を深める。 |         |  |
|           | 運動・感覚           | 1. 大型遊具やトランポリンを活用し、体幹やバランス感覚を養う。2. 鬼ごっこやサーキット遊びで全身を使って運動し、感覚統合を促す。3. 運動遊び(ボール遊び、キックバイクなど)を通じて協調性や筋力を強化。4. 水遊び・砂遊びなどの感触遊びを取り入れ、感覚過敏を緩和する。5. イヤーマフや光の調整を活用し感覚過敏の子どもが過ごしやすい環境を作る。6. ダンスを通じて、体を動かす楽しさを体験し自己表現の幅を広げる。                     |         |  |
|           | 認知・行動           | 1. 積み木・パズル・迷路遊びを通じて、問題解決能力や集中力を向上。2. ストーリーのある遊び(人形劇、なりきり遊び)を通じて、想像力を育む。3. 順番を待つルールを守る遊びを取り入れ、自己コントロール力を高める。4. 感情表現カードや絵本を活用し「怒り」や「嬉しい」などの感情を理解する。5. 創作活動(お絵かき、工作)を通じて五感を刺激し表現力を伸ばす。6. リトミックレッスンを通じてリズム感や音楽に親しみ、表現力を育む。               |         |  |
|           | 言語<br>コミュニケーション | 1. 「〇〇ごっこ」遊びを通じて、場面に応じた言葉のやり取りを学ぶ。2. 絵本の読み聞かせや会話カードを使って語彙を増やし、会話の力を養う。3. お話作り遊び(みんなで一つの物語を作る)を通じて、文章の組み立てを学ぶ。4. 「ありがとう」「ごめんね」など、相手の気持ちを考える言葉の練習をする。5. 自己紹介や「今日楽しかったこと」などを話す機会を増やし、自信をつける。6. 英会話を取り入れ遊びながら異文化や言語に触れる機会を作る。            |         |  |
|           | 人間関係<br>社会性     | 1. チームで遊ぶゲーム(ドッチボール、宝探し)を通じて協力する力を育む。2. 役割分担を決めて遊びを進め、責任感を持つ経験をする。3. 年齢の違う子どもたちと関わる遊びを通じて、思いやりやリーダーシップを育む。4. 「お願い」「断る」「謝る」など実際の会話を想定したロールプレイを行う。5. 買い物ごっこを通じてお金のやり取りや社会の仕組みを学ぶ。  |         |  |
| 家族支援      |                 | 1. 毎日の連絡帳やSNSで子どもの様子や成長を共有。2. 家庭での遊びのアイデアを提供し、継続的な支援を行う。3. 保護者の悩みに寄り添い、一緒に解決策を考える場を作る。   | 移行支援    | 1. 小学校・中学校への進学準備として、集団活動や学習サポートを行う。<br>2. パソコンやタブレットを活用し、タイピングや簡単な検索スキルを学ぶ。<br>3. 地域のイベントやお店に行き実際の社会経験を積む機会を作る。<br>4. 学校との連携を深め、生活面・学習面での支援を統一する。  |
| 地域支援・地域連携 |                 | 1. 相談支援事業所と情報共有により、自動の支援を充実させる。<br>2. 地域のイベントやボランティア活動に参加し、社会とのつながりを広げる。3. 併用先の障害児通所施設と情報共有を行う。  | 職員の質の向上 | 1. 職員の資質向上の為外部研修や社内研修の機会を積極的に設け、最新の支援技術や知識の習得を推奨しています。2. 「子どもとの関わり方」や「ポジティブな声かけ」など、職員間での定期的な研修を行い、支援スキルの向上を図っています。3. 定期的な振り返りミーティングを行い、支援の質を向上させる。 |
| 主な行事等     |                 | 1. 季節のイベント(ひな祭り、七夕、ハロウィン、クリスマス)を開催。2. 子どもが主体となる「発表会」や「作品展示会」を実施。3. 地域交流を深めるため近隣のイベント(お祭り、フェス)に参加。4. 遠足や屋外遊びを積極的に取り入れ、自然体験を増やす。5. 長期休みにプロサッカー選手を招いた特別サッカー教室を開催し憧れの選手と交流をしながら運動を楽しみ、チームワークやルールを学ぶ。                                     |         |  |